

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年4月16日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 0990400012 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人常盤福祉会 | | |
| 事業所名 | グループホーム万葉 | | |
| 所在地 | 栃木県佐野市堀込町1336-1 (電話) 0283-20-1337 | | |
| 評価機関名 | 社会福祉法人栃木県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 栃木県宇都宮市若草1-10-6 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年3月13日 | 評価確定日 | 平成20年4月16日 |

【情報提供票より】(平成20年2月20日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------|-------------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成19年5月1日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 7 人 | 常勤6人(うち兼務1人), 非常勤1人, 常勤換算6.5人 | |

(2) 建物概要

| | |
|------|-------------------|
| 建物構造 | 鉄骨造り 2階建ての2階部分 |
|------|-------------------|

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|-----------------|----------|------------|---|---|
| 家賃(平均月額) | 60,000 円 | その他の経費(月額) | ・光熱費代—17,000円 ・日用品代—5,000円 ・理美容代—1,575円～ ・おむつ代—1,008円～ | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 無 | 有りの場合償却の有無 | — | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり | | 1,500 円 | |

(4) 利用者の概要(平成20年2月20日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 2 名 | 女性 | 7 名 |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | | | |
| 要介護3 | 7 名 | 要介護4 | | | |
| 要介護5 | 名 | 要支援2 | | | |
| 年齢 | 平均 88 歳 | 最低 | 82 歳 | 最高 | 98 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------------|
| 協力医療機関名 | 佐野医師会病院、緒形歯科医院 |
|---------|----------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

| |
|--|
| <p>当ホームは、私鉄の駅から至近に位置しており、敷地内には同法人の特別養護老人ホームがある。建物は2階建てで、1階はデイサービスセンター、2階がグループホームになっている。法人全体としての理念の共有を図っており、職員は名刺大の理念や行動指針が記載されたカードを携行している。運営者は職員の研修参加を積極的に促している。地域の女性部会と定期的な交流を図ったりと地域の方々へのアプローチも積極的に考えている。管理者、職員は入居者の気持ちに沿った支援をするためにホームの取組みの向上を図っていきたくと考えている。</p> |
|--|

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回が始めての外部評価の機会である。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は管理者がまず取り組み、職員、施設長にみてもらう形をとった。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>町会長、地域包括支援センター職員、入居者、入居者家族に参加してもらい、ホームの状況を説明し、委員から意見や助言をもらっている。今後、女性会の方や消防団、米寿会(老人会)などにも参加を呼びかけることを検討している。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>面会時に写真なども見てもらったりしながら、口頭で報告したり、電話で報告したりしている。預かり金は出納帳管理をしており、家族の訪問の際に確認してもらっている。職員が変わった時には家族の訪問の際などに紹介している。法人広報誌を作成・配布しているが、ホーム便りなども検討している。重要事項説明書にホーム及び市、国保連、運営適正化委員会の窓口を明記している。運営推進会議で家族の意見なども出されている。</p> |
| 重点項目③ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の女性会の方が定期的にホームに来て交流を図ったり、お祭りなどの地域行事に参加したりしている。回覧板で地域に広報誌を回覧するなどして理解を促進するための取り組みもしている。</p> |
| 重点項目④ | |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「感動満足」を基本とし、職員の行動理念等も含まれた法人理念等を事業所の理念として共有している。 | ○ | ホームの独自の理念も検討したいと考えている。職員の意識あわせという意味でも話し合いをしながらホームとして大切にしていくことを独自の理念としてまとめていくことにも期待したい。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員は、名刺大に折りたためる法人理念、行動指針等を携行することとなっており、研修などでも取り上げ、法人全体として理念の共有を図り、あいさつと笑顔を大切にしながらその実践に努めている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の女性会の方が定期的にホームに来て交流を図ったり、お祭りなどの地域行事に参加したりしている。回覧板で地域に広報誌を回覧するなどして理解を促進するための取り組みもしている。 | ○ | 近所で行なわれている老人会の集まりに参加させてもらうことや保育園児との交流なども検討している。地域の方々との交流の輪を更に広げ、地域により溶け込んでいくことに期待したい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 今回が始めての外部評価の機会である。今回の自己評価は管理者がまず取り組み、職員、施設長にみてもらう形をとった。 | ○ | それぞれの職員の考えや思いの差異を確認しながらホームとしての方向性を検討していくという意味でも、更に全職員で自己評価に取り組むことにも期待したい。 |

グループホーム万葉

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|----------------------|---|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 町会長、地域包括支援センター職員、入居者、入居者家族に参加してもらい、ホームの状況を説明し、委員から意見や助言をもらっている。今後、女性会の方や消防団、米寿会（老人会）などにも参加を呼びかけることを検討している。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 分からないことを市に相談したりしている。今後、連携を深めて行きたいと考えている。 | ○ | 地域との交流を深めていく中で、市にも福祉的連携から更に地域における生活支援という広義の視点で積極的情報を発信しながら、少しずつ市との連携を深めていくことを期待したい。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 面会時に写真なども見てもらったりしながら、口頭で報告したり、電話で報告したりしている。預かり金は出納帳管理をしており、家族の訪問の際に確認してもらっている。職員が変わった時には家族の訪問の際などに紹介している。法人広報誌を作成・配布しているが、ホーム便りなども検討している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 重要事項説明書にホーム及び市、国保連、運営適正化委員会の窓口を明記している。運営推進会議で家族の意見なども出されている。 | ○ | 運営推進会議を通して、家族会の立ち上げなども意見として出されている。入居者の状況の伝え方を工夫しながら、家族等の意見がもらいやすい仕組みづくりを検討していくことにも期待したい。 |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | これまでに退職による職員の変更はあったが、周りの職員がカバーしながら入居者への影響がないように配慮している。 | ○ | 職員の異動など電話や口頭で報告し、入居者や家族へ対応をしている。更に今後も職員異動にともなう入居者のリロケーションダメージの軽減や入居者の家族も安心できる取り組みの創意工夫を期待したい。 |

グループホーム万葉

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 運営者は、積極的に研修の機会を作り、また外部研修に参加させることを大切にしている。外部の研修参加後は報告書を作成したり、伝達をしたりしている。法人の委員会活動なども職員の質の向上やケアに活かすようにしている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者は、外部研修の機会などを通して個人的なネットワークは作っている。同業者団体への加入を検討している。運営者、管理者は地域の同業者のネットワークの必要性を感じている。 | ○ | 地域包括支援センターの仲立ちで市内の同業者のネットワーク形成も検討されている。地域の同業者と地域全体の認知症ケアの質の向上を図ったり、職員同士の交流を図っていくことに期待したい。 |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人の様子を見ながら、共同生活に慣れるまでは部屋で食事をしてもらったり、お風呂の苦手な方には足浴から勧めてみたりしている。ある程度の関係性が構築できてから様々なことに誘ってみるようにしている。また、生活歴等などから本人にとってのあたりまえの生活ができるような支援に努めている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 共に暮らすという考え方で生活を支援している。業務を優先した職員のペースになってしまうことがあると感じており、入居者と共に過ごす時間をより増やしたいと考えている。 | ○ | 入居者の持てる力を活かしながら入居者に主体的にってもらったり、職員と一緒にいるなど、生活の流れを再度検討したりしながら入居者と一緒に過ごす時間を増やしていくことを期待したい。 |

グループホーム万葉

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------|---|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 本人の言葉から思いを読み取るようにしたり、家族に協力を得たりしながら思いや意向の把握に努めている。また、会議や話し合いなどで職員間の情報を共有するように努めている。 | ○ | 職員がキャッチした情報などは、連絡ノートや個人記録などに記載し、情報の共有を図っている。情報をまとめたり、記録方法・ルールを職員間で統一するなど、情報を介護計画の作成や支援の実践に活かしやすくするような仕組みの検討にも期待したい。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人・家族としっかりと向き合って計画を作成したいと考えている。計画作成担当者（兼管理者）も勤務ローテーションに入っており、家族となかなか会えないという現状の反面、話し合いの時間を確保したいと考えている。 | ○ | センター方式アセスメント様式を使ってみることも検討しているので、例えば家族や職員など本人に関わる人たちと共同作業をしたりしながら、限られた時間での話し合いの場を有効に活用する方策の検討などにも期待したい。 |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月、6ヶ月の目標期間に応じた定期的な見直しのほか、大きな変化があったときには随時見直しをしている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 敷地内に併設されている特別養護老人ホームのカラオケルームを利用するなど法人内の設備なども活用している。入居者と職員が1対1で受診に出掛けたついでに外出するなど柔軟な支援も検討している。 | | |

グループホーム万葉


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|----------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ももとの主治医での受診を基本に支援している。通院は家族が行い、通院結果を聞いたり、必要に応じて家族を通して医師にサマリーを提供するなどして適切な医療が受けられるよう支援している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 終末期ケアの勉強会などをしており、家族の希望なども聞いている。今後、具体的な検討の必要性が出てきたときには体制の問題、職員間の意識の統一、主治医の協力などが必要と考えている。 | ○ | 今後も継続的に勉強会やホームとして対応できること・難しいことについて職員間の話し合いを続けていくことに期待したい。また、本人・家族と折に触れて話し合っていくことを期待したい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない | 一人ひとりの誇りやプライバシーを大切に支援を心掛けている。リビングで記録をしており、テーブルの上に記録を置いてその場を離れてしまうことがあり、個人記録の取り扱いに更に注意を払いたいと考えている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 例えば食事の場面では入居者はそれぞれのペースで食事をしてきたが、職員の都合、業務中心的になってしまうことがあると感じており、趣味や外出など入居者それぞれの希望にそった支援の充実を更に図っていききたいと考えている。 | ○ | 現在は職員が少ない状況ではあるが、管理者、職員とも入居者の希望に沿った支援を考えているので、職員間でアイデアを出し合ったりしながら更に支援の充実を図っていくことにも期待したい。 |

グループホーム万葉

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|---|----------------------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | ご飯、汁物はホームで作り、その他のものは併設施設から届く形態になっている。盛り付けを入居者と一緒に行ったり、1週間に1回は入居者と一緒に食事を作る機会を設けている。職員も一緒に同じ物を食している。季節感のあるメニューにも配慮している。 | ○ | 盛り付けを入居者の目の前でやることなども検討している。本人の持てる力を活かすという意味でも食のあり方について検討してみることも期待したい。 |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 日中・午後の時間帯での支援が多い。少なくとも週に2回は入浴してもらえるよう、また入浴剤なども用いながら支援している。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 洗濯、掃除、食事の準備・片付けなど、入居者のできることに配慮しながら一緒に行ったりしている。少人数で外出をしたり、希望者には学習療法の機会を提供したり、畑での収穫などの場面づくりもしている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 近くの公園等に車で出掛けるなどの機会をつくっているが、個別の希望に沿った外出など、外で過ごせる時間を増やしていきたいと考えている。 | ○ | 家族を交えての個別の外出や旅行なども検討しているので、更に充実していくことにも期待したい。 |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 見守りをしながら、鍵を掛けないケアの実践に努めている。 | | |

グループホーム万葉

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 避難訓練はこれから実施する予定である。町内会長を通して消防団への協力依頼をしている。 | ○ | いざというときの入居者、職員の動きを確認するという意味でも、早期の災害時対応のシミュレーションや避難訓練の実施を期待したい。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 献立は併設施設の栄養士がたてている。食事摂取量はバイタルなどと一緒に記録している。お茶、コーヒーなど好きなものを選んでいただくなどして水分摂取にも気を配っている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節の花や入居者の作品などを飾ったり、新聞・雑誌などを置いたりしている。ちょっとした廊下のスペースにテーブル・イスを置いたり、ソファを置いたりもしている。24時間換気システムになっており、気になる臭い等はなかった。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | それぞれにタンス等を持ってきており、それぞれの居室作りがされていた。居室の入口に箒と塵取りを掛けている方もいた。 | | |

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。